

授業改善推進プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等	項目	内容
令和3年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○漢字や言語学習に意欲的に取り組むことができる。 ○目的や場面の様子を読み取る力、事柄の順序を考えながら内容を理解する力は、向上している。 ▲漢字のまとめのテストでは、平均およそ7割程度とれているが、日常の学習の中での活用には至っていない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・学習した漢字を活用する力。 ・場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読む力。 ・段落とその中心をとらえ正確に読み取る力。
	具体的な授業改善の方策	・日常的に語彙を豊かにする指導の工夫をする。(辞書引き・日記) ・可能な範囲でペア、グループでの対話・交流を通しての読みを深める活動を取り入れる。 ・接続語や指示語、段落相互の関係、中心になる言葉や文などを手がかりに本文を丁寧に読むようにする。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○文章から情報を抜き出し、整理する力が付いてきており、まとめる力も向上した。 ○日記の活用により、語彙力の一定の向上が見られた。 ・文章を構成する際に、読み直して修正したり、既習の漢字を活用したりすることに課題がある。 ・文章を読み取る際に、根拠を明確にして考えることに課題がある。
令和4年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○文章を読んで、その大まかな内容の読み取りでは、到達率90%に達している。 ▲知識・技能の到達率が73%と低く、既習漢字を日常の学習に活用できていない。 ▲自分の考えや文章をまとめて書く力が弱い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・既習の漢字を定着させ、活用する力。 ・基本的な文章構成について理解し、伝えたいことを分かりやすく文章に表す力。
	具体的な授業改善の方策	・日記や学習の振り返りなどの書く活動をなるべく取り入れ、漢字を使用する機会を増やしていく。また、国語辞典を活用し、分からない言葉や文字をすぐに調べることができるようにする。 ・自分の考えをもつことができるように、友達と意見を交流する場を設ける。 ・はじめ、中、おわりの文章構成を基本として文章を書く活動を通して、自分の考えをまとめて表現できるようにする。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○日記活動を通じて、短い文章を構成していくことができるようになってきた。既習漢字の使用率も上がってきており、児童の意識も向上した。国語辞典を使って漢字を調べる姿も増えた。 ▲文章構成ではじめ・中・終わりで書こうとする意識は上がってきた。しかし、実際に文章を組み立てる際は、長くなればなるほど内容が伝わらず、誤字・脱字も多くなり、見直しても間違いに気付かないことがある。
令和5年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	○文章の内容を読むことや、言語の力については全国平均と比べ、差があまりない。 ▲全国学力調査の結果から話す・聞くの領域が全国平均と比べて11.5点低く、文章を読んで内容を捉えて解決する力に課題が見られた。 ▲文章の内容や問題を理解して、自分の考えを表現して書く力に課題が見られた。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・文章の内容を捉え、主体的に解決する力。 ・文章の内容を理解し、自分の考えを表現する力。
	具体的な授業改善の方策	・毎回の授業のめあてを焦点化する。 ・めあてに対する自分の考えをもたせるだけでなく、共有し、もう一度自分の考えを発表や記述する時間を多く設定する。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

斤

乞